



株主のみなさまへ

## 第98期中間ご報告

平成25年3月21日 ▶ 平成25年9月20日

株式会社 安川電機

(証券コード：6506)

## ■ 株主のみなさまへ

株主のみなさまには平素は格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

第98期第2四半期連結累計期間(平成25年3月21日から平成25年9月20日まで)における当社グループの業績について概要をご報告申し上げます。

当第2四半期連結累計期間の当社グループを取り巻く経営環境は、海外は、中国では全般的には厳しい状況の中、自動車・スマートフォン等、一部市場では需要が高く、米州では緩やかな回復基調が続きました。一方、国内は、為替の円高是正が続くなかで持ち直しの動きが見られました。

このような状況下、当社グループは、円高是正による輸出環境の改善が見られるなかで、海外を中心に好調な市場を捉え、拡販に注力してまいりました。主要セグメントでは、モーションコントロールにおいて国内及び中国をはじめとしたアジアにおける販売が堅調に推移いたしました。

また、グローバル企業としての高収益体質実現を図るべく、国内外における投資や経費構造の見直し等を進めるとともに、平成25年度を通じて以下の方針にそった諸施策を実行中です。

- 好調・成長市場を軸とした受注拡大
- 環境変化に素早く対応できる  
開発力、生産力、販売力の構築
- 新規事業への資源シフトによる事業化加速

上記の結果、当第2四半期連結累計期間の当社グループの業績は、前年同期より円安傾向に転じたこともあり、売上高1,771億58百万円(前年同期比17.7%増)、営業

利益126億35百万円(同105.8%増)、経常利益134億7百万円(同111.0%増)、四半期純利益72億56百万円(同107.4%増)となりました。

以上のような業績及び財務状況等を勘案し、中間配当につきましては当初お知らせいたしておりましたとおり、1株につき6円とさせていただきます。

各セグメント別の業績動向はつぎのとおりです。

第1四半期連結会計期間より報告セグメントの区分を変更しており、各セグメントの前年同期比につきましては、前年同期の数値を変更後のセグメント区分に組み替えたとうえで算出しております。

### セグメント別の業績

セグメントの名称	売上高(前年同期比)	営業損益(前年同期比)
モーションコントロール	822億91百万円 (30.5%増)	85億31百万円 (69億84百万円増)
ロボット	586億37百万円 (7.9%増)	48億25百万円 (8億80百万円増)
システムエンジニアリング	162億16百万円 (7.2%減)	△4億14百万円 (8億84百万円減)
その他	200億12百万円 (28.3%増)	3億17百万円 (51百万円増)

今後につきましては、為替の動向は対ドル、対ユーロとも、振れを伴いつつも一頃に比べて円安になりましたが、世界経済は、米州の政策動向による影響や中国の成長鈍化等、不透明感が強まっており、当社グループを取り巻く経営環境は厳しいものと想定しております。

このような状況に打ち勝ち、市場の変化に最速・最適に対応すべく、既存の施策に加え、今後、それぞれの方針にそって以下の強化策を実行してまいります。

● **好調・成長市場を軸とした受注拡大**

- ・国内、中国のロボット新工場の活用やこれまでの販売体制拡充のための投資効果を最大化することで、受注拡大を図ります。

● **環境変化に素早く対応できる  
開発力、生産力、販売力の構築**

- ・開発面では、ニーズを確実に捉えたグローバル開発を行い、新製品の品質確保・コスト低減・納期順守を徹底し、早期市場投入を目指します。
- ・生産面では、海外生産拠点での量変動に対応できる生産体制の確立と利益創出を行います。
- ・販売面では、海外においては成長市場を取り込むための販売ネットワークの強化を進めます。国内においては営業バックオフィス機能の強化・活用を推進します。

● **新規事業への資源シフトによる事業化加速**

- ・太陽光発電用パワーコンディショナについては、ラインアップ拡大による売上増加を目指します。

- ・電気自動車向けモータ、風力発電システムについては、ターゲットとしている顧客での受注獲得を目指します。
- ・ロボティクス ヒューマンアシスト事業領域におけるバイオメディカル事業については、事業化加速を目指します。
- ・新規事業への資源シフトを可能とするために、全員参加での経費構造の見直しを強化します。

当社グループは、不確実性の高い経営環境の中、グローバル企業としての高収益体質実現及び将来の基幹事業の創出を図ってまいります。

株主のみなさまにおかれましては、今後ともなお一層のご理解とご支援を賜りますようお願い申し上げます。

平成 25 年 11 月



代表取締役会長兼社長

津田 弘嗣

## ■ セグメント別の概況

### モーションコントロール

ACサーボモータ・コントローラは、国内及び中国をはじめとしたアジアにおける販売が好調だったことに加え、安川電機(瀋陽)有限公司の生産拡大による収益貢献により、好調に推移いたしました。インバータは、太陽光発電用パワーコンディショナの販売が大幅に増加したことに加え、汎用インバータについても堅調に推移いたしました。これらの結果、前年同期比で、売上高、営業利益とも大幅に増加いたしました。

#### 主要製品

- ACサーボアンプ・ACサーボモータ
- 汎用インバータ
- 太陽光発電用パワーコンディショナ
- EV用モータドライブシステム
- マトリクスコンバータ
- 電源回生コンバータ
- マシンコントローラ
- ビジョンシステム
- 工作機械用AC主軸モータ・制御装置
- リニアモータ・制御装置



### ロボット

溶接・ハンドリング・塗装ロボット等は、海外の自動車業界向けを中心に堅調に推移いたしました。この結果、前年同期比で、売上高、営業利益ともに増加いたしました。

#### 主要製品

- アーク溶接ロボット
- スポット溶接ロボット
- 塗装ロボット
- ハンドリングロボット
- ピッキング・パッキング用ロボット
- プレス間ハンドリングロボット
- シーリング・切断ロボット
- バリ取り・研磨ロボット
- 半導体・液晶製造装置用クリーン・真空搬送ロボット
- 各種ロボット周辺機器
- ロボット応用FAシステム
- サービスロボット



## システムエンジニアリング

鉄鋼プラント用向けが需要の端境期にあり、全体としては前年同期の水準には至りませんでした。

### 主要製品

- 鉄鋼プラント用電気システム
- 上下水道用電気システム
- 各種産業用電気システム
- 小形風力・太陽光発電システム
- エネルギー関連システム
- 高圧インバータ
- 高圧マトリクスコンバータ
- 大形風力発電用コンバータ
- 産業用モータ・発電機
- 大形・小形風力用発電機
- 電力用配電機器



## その他

当セグメントには、情報関連事業及び物流サービス等の事業が含まれております。

### 主要製品

#### 情報

- 情報関連製品・サービス  
(オプトメカトロニクス・情報セキュリティ・情報マルチメディア)
- 情報処理ソフト及びサービス
- OA機器

#### その他

- 物流サービスほか



## ■ 新商品のご紹介

### MOTOMAN新機種を世界同時発売

## アーク溶接、スポット溶接、ハンドリング用途向け新形ロボット

地域ごとに異なるグローバルなニーズに合わせ、更なる高付加価値を生み出す新形アーク溶接ロボット・スポット溶接ロボット・ハンドリングロボットおよび新形コントローラを開発し、世界同時発売いたしました。

新形アーク溶接ロボット・スポット溶接ロボットは、信頼性・保守性・安全性を重視し、高速・高精度・高密度配置による「小形・スリム化」を実現しています。

新形ハンドリングロボットは市場の新たな要求にお応えし、組立て・搬送の自動化生産設備の生産性向上に対するソリューションを提供してまいります。

#### 主な用途

- MOTOMAN-MA1440  
自動車や機械関連部品などを主としたアーク溶接
- MOTOMAN-MS165, MS210  
自動車業界向けのスポット溶接
- MOTOMAN-MH12  
自動車関連部品、携帯電話、パソコン関連、家電機器などを主とした組立て・搬送



#### アーク溶接最適化ロボット

### MOTOMAN-MA1440

アーム形状の改善で  
最適なライン構築を実現



#### スポット溶接最適化ロボット

### MOTOMAN-MS165, MS210

小形・軽量化、高剛性で  
高効率化を実現



#### ハンドリングロボット

### MOTOMAN-MH12

可搬質量 12kg で  
クラス最高速の動作性能を実現

#### ロボットコントローラ

### DX200

省配線・低床化、安全機能の強化で  
生産性を向上



## バイオ・メディカル分野向けロボットシステムを開発

### 分析前処理ロボットシステム

創薬・製薬・臨床検査などのバイオ研究分野では、分析前処理作業として何種類もの小型容器に微量の試薬や検体を分注し、攪拌・分離を行ったり、複数の分析機器を駆使して微細な分析をするなど、複雑かつデリケートな作業が人手で行われています。しかし、これらの手作業には個人差によるばらつき、劇薬や細菌などへの接触の危険、長時間のルーチンワークといった潜在的な課題が存在しています。

当社は、こうした危険な環境や長時間のルーチンワークから研究者を解放するロボットシステムを開発いたしました。大きな特長は人が使っていた作業環境をそのまま使用し、実験作業を行うことです。各アームに人と同じ7関節を持つ双腕タイプのロボットを使い、複数の作業工程を1台で実現しています。産業分野だけではなく、国・大学・企業の研究施設、製薬会社、臨床検査センタなどの医療分野にも、当社が得意とするロボット技術の活躍の場を広げてまいります。

#### 主な用途

- プロテオミクス\*のための分析前処理作業
- 遺伝子解析のための分析前処理作業
- 再生医療分野を含むスクリーニング作業

\*：生体内の細胞や組織で作られるタンパク質の構造や機能を総合的に解析する技術の総称です。



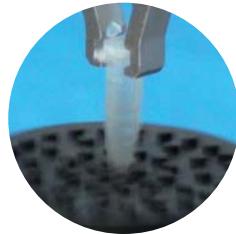
- ・人が使っていた作業環境をそのまま使用可能
- ・危険な作業の無人化が可能
- ・繰り返しの作業において、熟練の研究者と同等以上の精度を実現



マイクロチューブの蓋開け



ピペットによる試薬分注



マイクロチューブの攪拌



遠心分離機(周辺機器)の操作

## ■ 新商品のご紹介

### 簡単プログラミングのコントローラ誕生

モーションアダプタシリーズ

## MA100

「とにかく簡単!」をコンセプトに、サーボパックの簡単プログラミングを実現した位置決めコントローラ、モーションアダプタMA100を製品化いたしました。

MECHATROLINK-IIとEthernet (100Mbps) を標準搭載し、タイムチャート方式による位置決めプログラミングで簡単操作を実現しました。また、MECHATROLINK-II対応のサーボパック ( $\Sigma$ -V、 $\Sigma$ -V mini) を最大4軸、I/Oは最大4台まで接続可能です。

今までサーボ化が難しく積極的に使われなかった市場や用途への拡販を目指します。



#### 主な用途

- 小規模なシステム (搬送機器、設備や装置の補機、評価機など)
- 単純な位置決めシステム (装置の機械調整やデバッグなど)

### 時代に適したリハビリテーションロボットを開発

## 下肢用リハビリテーション装置

超高齢化社会の到来による医療・福祉現場での介助者不足のため、ロボット技術を応用した装置の活用が国策として期待されています。当社は、こうした時代のニーズにこたえて下肢 (足・脚部) のリハビリテーションを提供するTEM LX2 TypeD\*をリニューアルし、製品化する予定です。本装置の活用でリハビリテーションの量や質の安定化、介助者の負担軽減や要介護者の自立支援に貢献します。また本装置をきっかけに、リハビリテーション・福祉機器市場に向け、当社ロボットおよびモーションコントロール技術を生かしたヒューマンアシスト製品を開発し、市場創出を図ります。



#### 主な用途

- 脳血管疾患患者、整体疾患患者向けのリハビリテーション
- 高齢者向けの運動機能の回復・維持を目的としたリハビリテーション

(注) 医師や理学療法士などの指導下での使用に限ります。

\*：九州大学病院との共同研究で、2005年3月に発表した製品です。

## 促通反復療法のリハビリテーション装置を開発

### 上肢リーチング訓練装置

促通反復療法（川平法）\*のリハビリテーション装置（上肢リーチング訓練装置）を国立大学法人鹿児島大学と共同開発いたしました。本装置の使用により、脳卒中による後遺症で麻痺した上肢の回復を早めることが期待されます。本装置の実用化・普及に向け、臨床研究を継続中です。治療効果を示す臨床結果を収集するとともに、改良を行い2015年に製品化する予定です。他の部位（前腕、指、下肢、歩行など）の訓練装置についても、鹿児島大学と共同研究を進めており、順次、臨床研究を経て製品化を行います。

#### 主な用途

- 脳卒中の後遺症治療患者向けリハビリテーション

\*：鹿児島大学の前教授川平和美先生が開発した、脳卒中片麻痺患者向けの療法です。



## 歩行リハビリテーション装置を開発

### 足首アシスト歩行装置

学校法人芝浦工業大学、国立大学法人広島大学、および株式会社スペース・バイオ・ラボラトリーズと共同研究し、脳卒中などによる後遺症で麻痺した下肢の歩行姿勢（歩容）改善のための足首アシスト歩行装置を開発いたしました。

本装置の使用により、脳卒中などによる歩行障害に対する歩容改善および歩行能力の回復が期待されます。本装置の実用化・普及に向け、臨床研究を継続中です。治療効果を示す臨床結果を収集するとともに、改良を行い2015年に製品化する予定です。

#### 主な用途

- 脳卒中の後遺症治療患者向けリハビリテーション



## ■ 新商品のご紹介

### 回生エネルギー\*の有効活用

電源回生ユニット

## R1000

世界的に、節電・省エネの重要性がクローズアップされ、エネルギーの有効利用に対する意識がいつそう高まっています。当社は機械設備の節電・省エネに貢献する「安川回生省エネユニットシリーズ」として、既に販売しているマトリクスコンバータVarispeed AC、電源回生コンバータD1000に続き、電源回生ユニットR1000を販売開始しました。

R1000は、電源回生による省エネ効果はもちろん、制動抵抗方式に比べブレーキカアップ・機種拡充・電力モニタ拡充などの特長を有しています。また、世界規格に準拠し、グローバルに使用可能です。

\*：モータの減速時に発生する電力。



主な用途

#### ● 制動抵抗器を使用する機械

例：搬送機械、ロボット、繊維機械、金属機械、化学プラント、食料品加工機械、製紙・印刷機械

### 安川回生省エネユニットシリーズ

捨てていたモータの回生エネルギーを電源側に戻すことにより、機械設備の節電に貢献します。



マトリクスコンバータ  
Varispeed AC

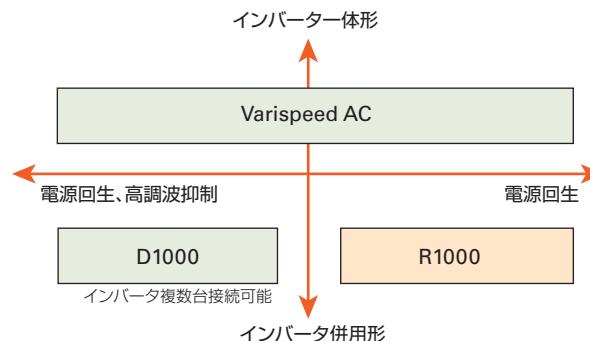


電源回生コンバータ  
D1000



電源回生ユニット  
R1000

### シリーズ製品のポジショニング



### 安川(中国) 機器人有限公司の開業

中国でのロボット生産拠点として、江蘇省常州市に安川(中国) 機器人有限公司を昨年3月に設立し、2013年5月20日に生産を開始しました。

中国では、近年自動車関連市場を中心に産業用ロボットの導入が加速しています。当社は「需要地生産」の考え方に基づき、中国の市場規模と今後の成長性の面から、中国におけるロボットの生産を開始しました。

当社が中期経営計画「Realize 100」で掲げる「グローバル経営の実現」に向け、ロボットの中国生産により、現地の市場に根ざしたベストな対応ができる体制を構築していきます。将来的には、中国国内だけでなくアジア諸国への産業用ロボットの供給も計画しています。



#### 工場概要

事業内容：産業用ロボット(制御装置含む)の製造

生産能力： 250台/月(2013年度9月)  
1000台/月(2015年度予定)

規模：敷地面積 52,000m<sup>2</sup>  
延べ床面積 29,500m<sup>2</sup>

従業員数：約400名(2015年度未予定)

### トルコ共和国に現地法人を設立

欧州地域統括会社である欧州安川有限会社(YASKAWA Europe GmbH)を通じ、トルコ共和国に現地法人YASKAWA Turkey Elektrik Ticaret Ltd. Sti. を設立しました。

トルコ共和国は、ここ10年の実質経済成長率が平均で5%以上と高成長を続けており、今後も市場拡大が見込まれます。当社は成長が期待される中東・東欧地域への事業展開を拡大させており、トルコ共和国においても拡販・サービス活動の強化を目指します。インバータ・サーボ・モータ・コントローラ・ロボットなど、当社の得意とする製品全体の供給とソリューションを提供していきます。



## ■ 連結財務諸表(要約)

連結貸借対照表(平成25年9月20日現在)

(単位:百万円)

資産の部		負債の部	
<b>流動資産</b>	<b>223,037</b>	<b>流動負債</b>	<b>129,278</b>
現金及び預金	27,779	支払手形及び買掛金	65,213
受取手形及び売掛金	95,279	短期借入金	22,997
たな卸資産	72,580	未払費用	21,366
繰延税金資産	7,309	その他	19,700
その他	21,326	<b>固定負債</b>	<b>63,204</b>
貸倒引当金	△1,238	新株予約権付社債	15,000
<b>固定資産</b>	<b>97,746</b>	長期借入金	13,818
有形固定資産	46,398	退職給付引当金	26,018
建物及び構築物	21,604	役員退職慰労引当金	214
その他	24,794	その他	8,152
無形固定資産	14,209	<b>負債合計</b>	<b>192,482</b>
投資その他の資産	37,137	<b>純資産の部</b>	
投資有価証券	22,369	<b>株主資本</b>	<b>114,517</b>
繰延税金資産	9,376	資本金	23,062
その他	5,681	資本剰余金	18,685
貸倒引当金	△289	利益剰余金	73,234
		自己株式	△465
		その他の包括利益累計額	<b>8,391</b>
		その他有価証券評価差額金	5,131
		為替換算調整勘定	3,259
		<b>少数株主持分</b>	<b>5,392</b>
		<b>純資産合計</b>	<b>128,300</b>
<b>資産合計</b>	<b>320,783</b>	<b>負債・純資産合計</b>	<b>320,783</b>

(注)記載金額は百万円未満を切捨てて表示しております。

連結損益計算書

(単位:百万円)

自平成25年3月21日 至平成25年9月20日	
<b>売上高</b>	<b>177,158</b>
売上原価	124,844
<b>売上総利益</b>	<b>52,314</b>
販売費及び一般管理費	39,678
<b>営業利益</b>	<b>12,635</b>
<b>営業外収益</b>	<b>1,321</b>
受取利息	70
受取配当金	252
持分法による投資利益	248
為替差益	314
その他	435
<b>営業外費用</b>	<b>549</b>
支払利息	346
その他	203
<b>経常利益</b>	<b>13,407</b>
<b>特別利益</b>	<b>11</b>
固定資産売却益	11
<b>特別損失</b>	<b>1,417</b>
固定資産除売却損	200
投資有価証券評価損	1
減損損失	374
事業構造再編費用	840
<b>税金等調整前四半期純利益</b>	<b>12,001</b>
法人税、住民税及び事業税	3,092
法人税等調整額	1,324
<b>少数株主損益調整前四半期純利益</b>	<b>7,584</b>
少数株主利益	328
<b>四半期純利益</b>	<b>7,256</b>

(注)記載金額は百万円未満を切捨てて表示しております。

**連結キャッシュ・フロー計算書**

(単位：百万円)

自平成25年3月21日 至平成25年9月20日	
営業活動によるキャッシュ・フロー	18,172
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 5,807
財務活動によるキャッシュ・フロー	△ 6,107
現金及び現金同等物に係る換算差額	749
現金及び現金同等物の増減額	7,006
現金及び現金同等物の期首残高	19,389
新規連結に伴う現金及び現金同等物の増加額	1,183
非連結子会社との合併に伴う現金及び現金同等物の増加額	58
現金及び現金同等物の四半期末残高	27,636

(注) 記載金額は百万円未満を切捨てて表示しております。

**資産、負債及び純資産の状況**

当第2四半期連結会計期間末における資産合計は、現金及び預金が増加したこと等により、3,207億83百万円(前連結会計年度末比182億65百万円増)となりました。

負債合計は、支払手形及び買掛金が増加したこと等により、1,924億82百万円(同74億29百万円増)となりました。

純資産合計は、利益剰余金及び為替換算調整勘定が増加したこと等により、1,283億円(同108億35百万円増)となりました。

**キャッシュ・フローの状況**

当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物の残高は276億36百万円となり、前連結会計年度末に比べ82億47百万円の増加となりました。

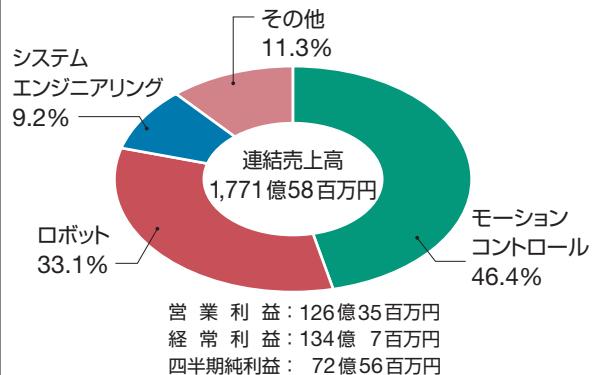
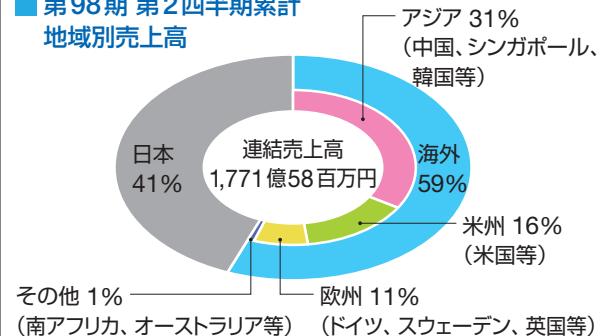
営業活動によるキャッシュ・フローは、181億72百万円の収入(前年同期比17億99百万円の収入減)となりました。主な内訳は、税金等調整前四半期純利益120億1百万円、減価償却費41億78百万円、売上債権の減少85億63百万円、たな卸資産の増加48億1百万円、仕入債務の増加28億16百万円です。

投資活動によるキャッシュ・フローは、58億7百万円の支出

(前年同期比1億12百万円の支出増)となりました。主な内訳は、有形及び無形固定資産の取得による支出57億43百万円です。

この結果、営業活動と投資活動によるキャッシュ・フローを合計したフリー・キャッシュ・フローは、123億64百万円の収入となりました。

財務活動によるキャッシュ・フローは、61億7百万円の支出(前年同期比54億15百万円の支出減)となりました。主な内訳は、短期借入金の減少29億5百万円、長期借入金の返済による支出27億56百万円、配当金の支払額12億59百万円です。

**第98期 第2四半期累計 連結売上高構成比率**

**第98期 第2四半期累計 地域別売上高**


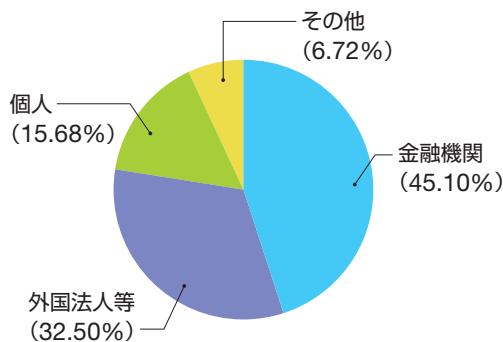
## 株式の状況 (平成25年9月20日現在)

発行可能株式総数 ..... 560,000 千株  
 発行済株式の総数 ..... 252,331 千株  
 資本金 ..... 230億62百万円  
 株主数 ..... 18,139 名

大株主(上位10名)	持株数	持株比率
日本スタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	16,038 千株	6.37%
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	15,146 千株	6.01%
株式会社みずほ銀行	8,100 千株	3.22%
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社 (三井住友信託銀行退職給付信託口)	7,970 千株	3.16%
明治安田生命保険相互会社	7,774 千株	3.09%
STATE STREET BANK AND TRUST COMPANY 505225	7,056 千株	2.80%
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社 (三井住友信託銀行再信託分・株式会社福岡銀行退職給付信託口)	6,375 千株	2.53%
SAJAP	6,240 千株	2.48%
STATE STREET BANK AND TRUST COMPANY	4,164 千株	1.65%
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口9)	4,112 千株	1.63%

(注) 持株比率は、自己株式を控除して計算しております。

### ● 所有者別株式分布状況



## 役員 (平成25年9月20日現在)

### 取締役

代表取締役会長兼社長 津田 純 嗣  
 代表取締役副社長 宇佐見 昇  
 代表取締役 専務執行役員 沢 俊 裕  
 取締役 常務執行役員 小笠原 浩  
 取締役 執行役員 村 上 周 二  
 取締役 執行役員 中 山 裕 二  
 社外取締役 秋 田 芳 樹

### 監査役

監査役(常勤) 市 川 学  
 監査役(常勤) 下 園 直 登  
 社外監査役 石 丸 誠  
 社外監査役 辰 巳 和 正

### 執行役員

常務執行役員 扇 博 幸  
 執行役員 後 藤 英 樹  
 執行役員 本 松 修  
 執行役員 南 善 勝  
 執行役員 柳 瀬 重 人  
 執行役員 高 宮 浩 一  
 執行役員 野 田 幸之輔  
 執行役員 善 家 充 彦  
 執行役員 小 川 昌 寛  
 執行役員 吉 田 一 昭  
 執行役員 生 山 武 史

# ■ 会社の概要 (平成25年9月20日現在)

商号 株式会社安川電機

英文社名 YASKAWA Electric Corporation

設立 大正4年7月16日

従業員 11,382名(連結) 2,717名(個別)

事業所 本社	〒806-0004 北九州市八幡西区黒崎城石2番1号	電話(093) 645-8801
東京支社	〒105-6891 東京都港区海岸一丁目16番1号 ニューピア竹芝サウスタワー	電話(03) 5402-4502
名古屋支店	〒450-0002 名古屋市中村区名駅三丁目25番9号 堀内ビル	電話(052) 581-2761
大阪支店	〒530-0003 大阪市北区堂島二丁目4番27号 新藤田ビル	電話(06) 6346-4500
九州支店	〒810-0001 福岡市中央区天神四丁目1番1号 第7明星ビル	電話(092) 714-5331
工場等	八幡西事業所・行橋事業所・入間事業所・小倉事業所	

## 主要関連会社

### JAPAN

- 株式会社ワイ・イー・データ  
情報関連製品・サービス  
(オプトメカトロニクス・情報セキュリティ・情報マルチメディア)
- 安川情報システム株式会社  
情報の処理提供サービス・ソフトウェア開発並びにシステム機器販売
- 安川コントロール株式会社  
電気機械器具及びその部品の製造・販売
- 安川エンジニアリング株式会社  
電気機械設備の保全・整備・試運転調整及び技術指導
- 株式会社安川ロジステック  
総合物流事業
- 安川モートル株式会社  
電動機、発電機及び電動機応用製品の設計・製造・販売・保全・整備  
及び調整
- 株式会社安川メカトロック  
電気機械器具、その他各種機械器具の販売

### EUROPE

- YASKAWA EUROPE GmbH (ドイツ)  
インバータ、サーボモータ・制御装置並びにロボット及びロボットシステム  
の製造・販売・サービス
- YASKAWA NORDIC AB (スウェーデン)  
ロボット及びロボットシステムの製造・販売・サービス

### ASIA

- YASKAWA ELECTRIC(CHINA) CO., LTD. (中国)  
インバータ、サーボモータ・制御装置並びにロボット及びロボットシステム  
の販売・サービス

### AMERICA

- YASKAWA AMERICA, INC. (アメリカ)  
インバータ、サーボモータ・制御装置並びにロボット及びロボットシステム  
の製造・販売・サービス



安川電機 本社

事業年度	毎年3月21日から翌年3月20日まで
定時株主総会 (配当金受領株主確定日)	6月 毎年3月20日(期末配当金) 毎年9月20日(中間配当金)
公告方法	電子公告により行い、インターネット上の当社のウェブサイト( <a href="http://www.yaskawa.co.jp/ir/">http://www.yaskawa.co.jp/ir/</a> )に掲載いたします。ただし、やむを得ない事由により電子公告による公告をすることができない場合は、日本経済新聞に掲載して行います。
上場金融商品取引所	東京・福岡
株主名簿管理人	東京都中央区八重洲一丁目2番1号 みずほ信託銀行株式会社

## 株式事務に関するご案内

### ■ 未払配当金のお支払い

みずほ信託銀行・みずほ銀行の本店及び全国各支店にてお支払いいたします。

※みずほ証券の本店および全国各支店においても、取次ぎをいたします。

### ■ 配当金支払い明細の発行

みずほ信託銀行の下記連絡先にお問い合わせください。

### ■ 住所変更、単元未満株式の買取・買増請求、配当金受取方法のご指定、確定申告、相続に伴う手続き等

証券会社に口座をお持ちの株主様

口座を開設されている証券会社にお問い合わせ  
ください。

証券会社に口座をお持ちでない株主様

(特別口座に記録されている株主様)

みずほ信託銀行の下記連絡先にお問い合わせください。

※確定申告の際には、株式数比例配分方式以外の配当金受取方式を選択された株主様については、同封しております配当金計算書をご利用いただけます。

株式数比例配分方式を選択された株主様については、お取引の証券会社にご確認ください。

### ■ お問い合わせ先

〒168-8507 東京都杉並区和泉二丁目8番4号

みずほ信託銀行株式会社 証券代行部

(フリーダイヤル) **0120-288-324**